

大雨が降ったときの危険を知ろう！



水防災意識社会
再構築ビジョン

～名張市立錦生赤目小学校における防災教育～

木津川上流河川事務所

開催概要

防災教育の取り組み強化の一環として、昨年度に引き続き、名張市立錦生赤目小学校で河川・防災教育の授業を行いました。5年生の児童を対象に「大雨が降ったときの危険と災害を防ぐための工夫」について学習しました。

- 日時：平成30年11月21日（水）10:45～11:30（理科:3限目）
- 場所：名張市立錦生赤目小学校（5年生：24名 1クラス）
- 協力：木津川上流河川事務所

位置図



昨年の台風21号で大雨が降ったときの様子を地域の河川の様子を交え説明

道路に水が浸かっています。
水の深さがヒザより低いくらいなら安全に避難所へいけますか？



大雨が降ったときの危険についてクイズ形式により学習



ワークシートを使ってグループ学習



道路が水に浸かっていたら、溝とかあつたりして、見えなくて危ないと思います。

児童の感想

- ・ あらためて洪水は怖いと思った。洪水が起こらないように色々な工夫をしていることが分かった。
- ・ 大雨でヒザまで水がきいていても、危険な事を初めて知った。
- ・ 台風がきた時はテレビを見て避難準備をしたいと思います。
- ・ 今回の学習をして、避難を早めにしたかった。
- ・ ハザードマップには、地域の洪水災害で危険なところや避難について書かれている事が分かった。
- ・ ハザードマップを見て、危ないところや避難場所を確認しておこうと思った。

【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局 木津川上流河川事務所 調査課
〒518-0723 三重県名張市木屋町812-1 TEL 0595-63-1611（代）

人々の暮らしを守り 自然を守り 川とともに生きる

木津川上流河川事務所

